

目 次

提言の要約

提言の要旨	1
1 はじめに	2
2 豊田市稲武地区の現状	2
(1) 位置	
(2) 地勢	
(3) 気候	
(4) 人口	
(5) 住み続けるために求めること	
3 これまでの取り組み	4
(1) 子育て支援に関する取り組み	
(2) 地域内交通に関する取り組み	
(3) 地域自治区（地域自治システム）	
(4) コミュニティ会議	
4 課題	6
(1) 子育て環境	
(2) 地域会議とコミュニティ会議	
5 先進事例研究	8
(1) 岐阜県恵那市	
「意思決定組織」と「執行組織」とが一体的に連動した地域協働型のまちづくり	
(2) 千葉県我孫子市	
子どもの居場所づくり事業「あびっ子クラブ」	
6 政策提言	10
(1) 子どもが笑顔で暮らすことのできる環境づくり	
(2) 地域会議とコミュニティ会議の役割	
7 おわりに	14

提言の要旨

【目標】 安心して子育てできるまちづくり

【現状】

- 平成17年の市町村合併以降、人口減少が加速している
 - 急速な高齢化と40歳以下の世代の減少が続いている
 - 児童・生徒が少なく、地域唯一のこども園や小・中学校の廃校が危惧される
 - 地域コミュニティを担う人材の不足が懸念される
 - 山里の生活や地域文化の継承が困難になりつつある
 - 地域コミュニティの衰退による災害対応への不安
- ↓
- 多様な施策に取り組んでいるが、その施策の効果が限定的である

【これまでの取り組み】

- 子育て支援に関する取り組み（こども園、小・中学校、子育て支援センター）
 - 地域交通（地域バス、おでかけ予約バス）に関する取り組み
 - 地域会議、コミュニティ会議における取り組み
- ↓

【課題】

- 子育て環境
子育てを支援する制度は設けられているが、その運用に改善の余地がある
 - 地域会議とコミュニティ会議
双方の役割が不明確であり、地域の多くの意見を集約し、実施できる仕組みとなっていない
- ↓

既存制度の改善

住民主体による公共サービスの提供

【政策提言】

- 子どもが笑顔で暮らすことのできる環境づくり
 - ・ 安心・安全な子どもの居場所（プレイセンター）の開設・運営
 - ・ 通学見守りサポート事業の実施
- 地域会議とコミュニティ会議の役割
 - ・ 役割分担の明確化
 - ・ コミュニティ会議運営組織のNPO法人化による権限・財源の拡充